

一般社団法人日本循環器看護学会  
平成 30 年度 定時社員総会議事録

1. 日 時 平成 30 年 10 月 26 日(金)16:45～17:45
2. 場 所 新大阪丸ビル別館 5 階 5-1(大阪市東淀川区東中島 1-18-22)
3. 出席者 社員総数 50 名 この議決権 50 個  
出席社員 37 名(委任状を含む) この議決権 37 個  
出席理事 伊藤文代、宇都宮明美、岡田彩子、落合亮太、角口亜希子、小泉雅子、齊藤奈緒、  
瀬戸奈津子、竹原 歩、田村綾子、仲村直子、簗持知恵子、本田英恵、三浦稚郁子、  
吉田俊子

出席監事 眞嶋朋子

4. 議長・議事録作成者 吉田俊子理事長
5. 議事録署名人の選出

審議の前に、議長より、議事録署名人について岡田彩子社員及び長家智子社員が指名され、議場にその承認が求められたところ、異議なく満場一致をもって承認された。

6. 議事の経過の要領及び結果

議長は開会を宣し、以上のとおり定足数に足る社員の出席があり本総会は適法に成立した旨を報告し、議案の審議に入った。

#### 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告の承認の件

議長より、資料をもとに、標記議案についての説明がなされ、議場にその承認が求められたところ、異議なく満場一致をもって原案どおり承認された。

#### 第 2 号議案 平成 29 年度決算の承認の件

齊藤奈緒理事より、資料をもとに、標記議案についての説明があり、続いて眞嶋朋子監事から監査結果についての報告がなされた後、議場にその承認が求められたところ、異議なく満場一致をもって原案どおり承認された。

#### 第 3 号議案 平成 30～平成 31 年度役員選任の件

議長より、資料をもとに、理事全員が本定時社員総会の終結時をもって任期満了となるため、一般社団法人移行後第 3 期選挙の実施及び結果について報告がなされ、その改選について一同に諮ったところ、異議なく満場一致をもって次の者が選任された。

理事 阿部隼人

理事 落合亮太

理事 加賀谷聡子

理事 角口亜希子

理事 小泉雅子

理事 瀬戸奈津子

理事 竹原 歩

理事 仲村直子  
理事 西田和美  
理事 簗持知恵子  
理事 本田英恵  
理事 宮脇郁子  
理事 明神哲也  
理事 山田佐登美  
理事 吉田俊子  
理事 若林留美

#### 第 4 号議案 名誉会員推戴について

議長より、資料をもとに、下記の名誉会員候補者 2 名が示され、議場にその推戴について承認が求められたところ、異議なく満場一致をもって承認された。

愛知医科大学 佐藤芙佐子  
元亀田医療大学 深谷智恵子

#### 第 5 号議案 第 17 回学術集会長の選任の件

議長より、資料をもとに、標記議案について説明があり、理事会から宇都宮明美会員が推薦された旨が報告され、議場にその選任について承認が求められたところ、異議なく満場一致をもって承認された。

#### (報告事項)

##### 1. 平成 29 年度定時社員総会報告

議長より、資料をもとに、標記報告事項について説明がなされた。

##### 2. 総務報告

齊藤奈緒理事より、資料をもとに、標記報告事項について以下の説明がなされた。

平成 30 年度の会員数は 8 月 1 日の時点で個人会員 1,322 名、賛助会員 1 件であり、昨年度より 167 名減少した(昨年 8 月 24 日の時点 1,489 名)。

また、定款第 12 条により、来年 7 月末には会費を 2 年間滞納した会員は自動的に資格を喪失する。

年会費未納による会員資格喪失者が退会者総数の 75%を占めていることが問題であると報告され、次期体制への申し送り事項とすることが報告された。

##### 3. 理事会報告

議長より、資料をもとに、平成 29 年度の理事会開催状況について報告がなされた。

##### 4. 平成 30 年度事業計画・予算

各委員長より、資料をもとに、標記報告事項について以下のとおり報告がなされた。

###### 1) 学術委員会(岡田彩子理事)

・海外の循環器看護に関連するの会との交流。The Global Cardiovascular Nurse Leadership

Forum への加盟。

- ・循環器看護領域の学術的基盤の構築と発展に向けた、用語、定義の検討。
- ・年 3 回の教育セミナー開催。

2) 学会誌編集委員会(簗持知恵子理事)

- ・年 2 回の学会誌発行
- ・電子投稿システム運用の評価・改善。編集委員会マニュアル、査読ガイドライン等の見直し。
- ・次期専任査読委員の検討。
- ・投稿原稿の活性化へ向けての対策の実施

3) 政策・診療報酬委員会(宇都宮明美理事)

- ・循環器看護分野の政策的課題の検討。
- ・医療保険に関する外部機関への会議等の出席、および渉外。
- ・心不全患者の再入院予防介入プログラム研究の実施(看保連助成金)。
- ・心不全緩和ケアマニュアルの作成。

4) 広報委員会(落合亮太理事)

- ・学会ホームページ 会員専用コンテンツの充実。
- ・ニューズレター第 12・13 号の発行。
- ・メーリングリストの運用開始。

5) 倫理委員会(瀬戸奈津子理事)

- ・申請のあった研究に対して、規定に基づき倫理審査を行う。
- ・個人情報保護に関する問題が生じた場合に対応を行う
- ・本学会の研究に関する「利益相反指針」を運用する
- ・一般社団法人日本循環器看護学会倫理綱領に関する問題が生じた場合に対応を行う

6) 国内交流委員会(仲村直子理事)

- ・国内の循環器看護関連法人・学会・研究会などを中心とした諸団体との交流を図る。

7) 選挙管理委員会(伊藤文代理事)

- ・選挙の後処理及び反省点の整理。

8) 総務委員会(齊藤奈緒理事)

- ・各委員会の活動支援、調整。
- ・理事会、社員総会、会員総会の運営補助。
- ・会員獲得に関する事業。

9) 収支予算書(齊藤奈緒理事)

- ・事業活動収入予算 28,609,900 円、事業活動支出予算 28,499,261 円、収支差額 110,639 円の黒字予算。

## 5. 論文表彰の件

議長より、資料をもとに、本年度論文賞が以下のとおり決定したことが報告された。

優秀論文賞:

心不全患者に対する退院支援システムの効果(山崎優介、斜森亜沙子、近森さつき) <日本循環器看護学会誌, 12(1):26~32, 2016>

奨励論文賞:

慢性心不全を抱える高齢者の入退院を繰り返す過程における体験(蛭名由加里、小山幸代) <日本循環器看護学会誌, 13(1):28~36, 2017>

#### 6. 平成 30 年度会員総会について

議長より、資料をもとに、標記報告事項について説明がなされた。

#### 7. 第 15 回循環器看護学会学術集会報告

箕持知恵子会長より、本年度学術集会開催について報告がなされた。

- ・会場:大阪国際交流センター
- ・テーマ:トランジションを支えるー変わりゆく社会に求められる循環器看護ー
- ・事前参加登録者:会員 366 名、非会員 475 名、学生 2 名 計 846 名
- ・優秀演題 4 演題、一般演題(口演)57 演題、一般演題(ポスター)42 演題、合計 103 演題

#### 8. 第 16 回学術集会長挨拶

眞茅次期学術集会長欠席のため、議長より、標記報告事項について説明がなされた。

- ・テーマ:Art, Science & Technology 未来の循環器看護を創造する
- ・会期:2019 年 11 月 2 日(土)~3 日(日)
- ・会場:北里大学白金キャンパス/プラチナタワー
- ・参加者予定者数:約 1,000 名予定

また、第 16 回学術集会が 11 月開催となり、一般社団法人では会期終了後 3 カ月以内(10 月中まで)の社員総会開催が必要なことから、学術集会日とは別日程で平成 31 年度定時社員総会を開催することが報告された。後日、日程調整を行う。

以上により全ての議案が終了したため、議長は本総会の閉会を宣言した。